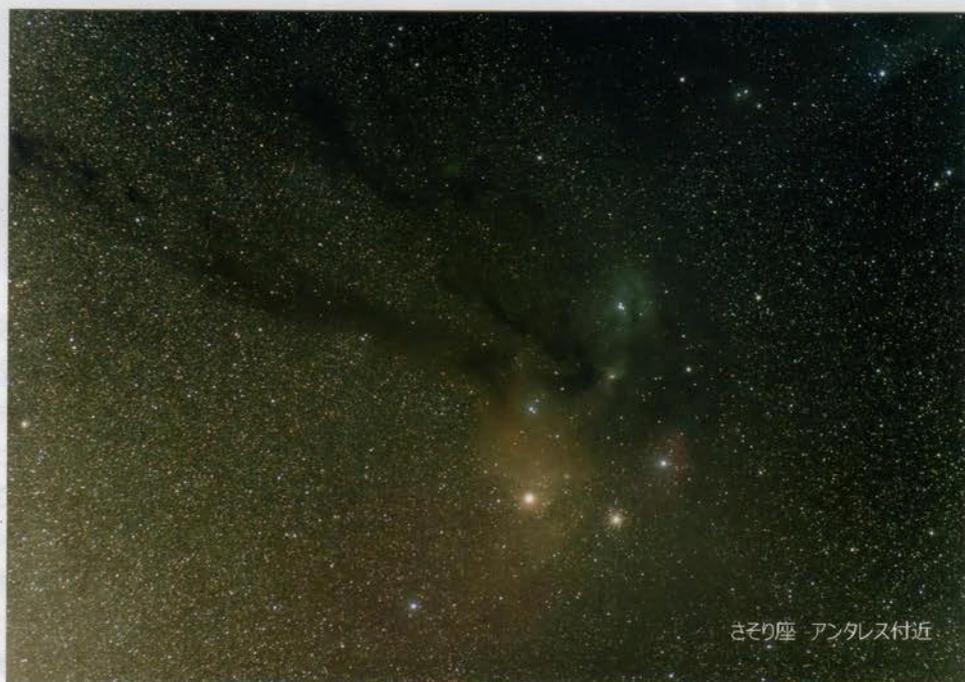


# 星屑

2013年8月号

No. 461



さそり座 アンタレス付近

さそり座アンタレス付近

熊本県民天文台

## 7/5(金) 水俣第二小学校 5年生の学年行事 夜空の観察会

この日は、一日中、分厚い雲が一面に広がっていました  
それでも12cm屈折・6cm屈折の2台を持参  
熊本県環境センターの環境教育指導者派遣制度を活用



### 第二小学校は、水俣市中心部の小学校です

参加者は、100名ほど。5年生は39名でしたが、その家族が大勢加わって・・・盛況! でした。アイソン彗星の解説を新しく作ったり、ブラックホールを解説を手直ししたり、既存の星座物語にも少し手を加え、いろいろ準備して出かけました。なにしろ、全く星が見えそうになりお天気でしたから。

小学校の2階にある「多目的室」という、講堂みたいな場所での開催。19:30~20:30までという予定でしたが、10分ほど超過して終了しました。準備していった、喜界島のアムリガー、夏の大三角、ブラックホール、アイソン彗星、を電子紙芝居を使った解説として展開。他に、模型を使って「地球の自転」「昼と夜」「地球の影」などを解説。

子ども達は、持参した小口径の屈折経緯台にも興味が湧いたようで、始まる前や終わった後、保護者と一緒に実際に触れてみて、背後の壁面にかけて時計を視野に導入するなどして、望遠鏡の使い方を体験、楽しんでくれました。

「観察会」が終わった後、最後まで残って質問したり後片付けを手伝ってくれた子ども達には「土星」の写真と「三裂星雲」の写真とをプレゼント。そうしたら、まだ校舎内に残っていた子ども達数名が、多目的室まで走って戻ってきて、「お土産写真」を受け取ってくれました。

### 少し近くなったけど・・・

15時に我が家を出て、天文台で望遠鏡などを積み込んで出発し、早めに水俣についてジョイフルで夕食。18時半から準備を開始。「観察会」が終わって、自宅に帰り着いたのは22時半過ぎ頃。くたびれたので、天文台に立ち寄って荷物を降ろすのは後回しにし、望遠鏡を車に積んだまま自宅に帰りました。高速道路が芦北町まで延びたので、片道1時間半程度で行けるようになり、随分楽になりましたが、気温が高いと気力の方がついて行けませんねえ。

**7/7(日) 七夕です、しかもお天気は晴!**  
**午後から問い合わせの電話が増え始め**  
**18時以降はひっきりなしの状態に**  
**19時前から、来台者が続々…**



土星を観察中

写真を撮影する余裕があったのはこの頃まで。

この後、すぐに観測室は満杯になり、身動きがとれない状態になりました。それが、22時まで。

### 電話が…

「今日は七夕、去年は晴れたので大賑わいだったねえ!」と思いだしていると、昼過ぎから電話がポツポツかかり始めて、17時頃からは、次々と……。かけてくる人たちの声を聞いていると、電話の向こうで「天の川を見たい!」と思っている様子が目に浮かびます。「今夜は、すごい数の来台者が来そうだ」と思いました。

### いつもより早めに夕食を済ませて

18時半には天文台に到着して、すぐに金星を導入。そうしたら、予想通りというか、予想を超えてといった方が良いか……。19時には数家族が来台。早速、青空を振り仰ぎつつ観察と解説を始めました。

「エーっ、あそこに、青空のはぐれ雲の左下に金星が!」「チクリと針で刺したように光っています」……。「エーっ! どどこ?!」「見えないよ!」「私は見えたよ!」などと、観測室はいきなり騒然!

「見えない人は、望遠鏡のおしりの方に来て下さい」「ここから、望遠用の筒先のほんの少し離れた方向を見て下さい」「周囲の方は、あのスギの木のとっぺんを上には伸ばして・・・」「ほら! 分かりましたか?」

「あーっっっ! 見えた!!」「ほら!あそこだよ!!」「こんな青空でも星が見えるの??」なんて具合です。金星が見えたとたんに「天の川は見えますか?」と、気の早い質問をする人もいます。そして、こんなやりとりの間にも、天文台には次々と電話がかかってきます。「今夜は営業していますか?」「場所はどこですか?」「近くまで来たけど、道が分からないのですが……」などなど。

## ひたすら、大きな声で解説

いや———！ それから、22時前までは、観測室が満杯の状態が続いて・・・  
22時30分頃に、ようやく公開を終了しました。

金星・土星・織り姫星、それに天の川まで見えて、皆さん大満足だったようです。

残念だったのは、お客さんが多すぎて、身動きはとれないし、天文台まで入ってこようとす  
る車を、公園内の駐車場に誘導するのも一仕事。運営中、観測室にはほとんど私一人だけ、  
解説の為に大きな声を出し続ける状態。一通り見終わって途中で帰る人たちへの対応が全く  
できず、一組の方を除いて募金をもらうことができませんでした。はあ・・・、もう少しス  
タッフが欲しかった・・・。

でも、西嶋さん、寿郎さん、応援ありがとう。何せ100人超でしたから、助かりました！

## 7/9(火) 久しぶりに、星野写真などを撮影 夏の星座の明るい星、天の川、など 解説用の素材にしようと考えました

昨年末に寒波襲来の中で頑張りすぎて肺炎を起こしてしまった苦い経験から、このところず  
っと「天体写真」の撮影から遠ざかっていました。でも、思いのほか早く梅雨明けして、し  
かもちょうど月明かりがなく天の川がバッチリ見えるのです。気温が高くて風邪を引く心配も  
ないし・・・。「ここで頑張らないわけにはいかない！」と、久しぶりに意を決して、41cm望  
遠鏡での直焦点撮影や、星野写真の撮影を行いました。

目的の1つは、ベガ・アルタイル・デネブ・アンタレス・アルビレオなど、夏の星座の定番  
の恒星達です。星空や星座を解説する時、ついついステラナビゲーターなどの画面をキャプ  
チャーして使ってしまうがちですが、そんな方法では望遠鏡で星を見た時の感動が伝わりませ  
んからね。電子紙芝居での星空解説で活躍してもらおうという目論見です。

もう一つの目的は、星座や天の川の写真を撮影すること。

天文台の来台者に「お土産写真」がとても人気ですが、「M天体」などのすごい写真が多  
くて、意外なことに普通の星野写真がほとんどありません。一方で、「自分の誕生月の星座  
の写真が欲しい」とか「今夜見た星空の写真はないの？」という来台者が多いのです。

七夕の夜に、「天の川」が見えて感動した人も多かったし・・・

で、20時30分頃、土星の写真撮影からスタート、次に明るい恒星を次々に撮って・・・、  
それから、星野写真撮影に移行して・・・。そうしている間にも、だんだん夜空のバックグラ  
ウンドが暗くなっていきます。すると、「どうせ撮るなら、クリアの電気が消える24時過ぎだ  
よね！」なんて考えが浮かんできました。

結局、午前2時半近くまで撮影を続け、それから家に帰って撮影データの整理をして、就寝  
したのは午前4時半頃だったでしょうか。

## NHKくまもとの「クマロク」に投稿

翌朝、「天の川」の写真画像処理して、NHKの「クマロク」に投稿しておいたら、次の日  
(7/11、木)の夕方、19時前に、しっかり放映されました。「熊本県民天文台で撮影しました」  
というコメントが流れ、それを見て12日(金)に来台した人がいたのは嬉しかったです。

★★★ これからのスケジュール ★★★

**7/25(木) 人吉市立中原小学校 「星の観察会」**

☆☆☆ 20:00 ~ 中原小学校で開催 ☆☆☆ (計画中)

**7/27(土) くまもと彩発見 「ロマン講座(天体編)」**

☆☆☆ 10:30~ くまもと森都心プラザで開催 ☆☆☆

**8/ 1(木) 旭が丘公民館 「夏の星空観察会」**

☆☆☆ 19:30~ 南区城南町旭が丘団地で開催 ☆☆☆  
注) 8/2(金)の計画でしたが、前日に変更しました

**8/ 2(金) あしきた青少年の家 「夏の星空観察会」**

☆☆☆ 20:00~ あしきた青少年の家で開催 ☆☆☆

**8/ 3(土) くまもと彩発見 「ロマン講座(天体編)」**

☆☆☆ 10:30~ くまもと森都心プラザで開催 ☆☆☆

**8/10(土) フィールドミュージアム 「夏の星空観察」**

☆☆☆ 19:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

**8/18(日) くまもと彩発見 「ロマン講座(天体編)」**

☆☆☆ 10:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

**8/30(金) 城南公民館講座 「夏の星空観察会」**

☆☆☆ 19:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

**9/20(金) フィールドミュージアム 「月の観察と撮影」**

☆☆☆ 19:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

## 第43回彗星会議 in 福島 報告

高田ゆういち

全国で彗星の観測、研究をおこなっているプロやアマチュアの人たちが年1回集まる「彗星会議」。第43回となる今年は、震災復興支援の意味合いを込め、福島県・星の村天文台（田村<sup>市</sup>）で行われました。

私は、前回の出席が1997年とだいぶ間が空きましたが、久しぶりに参加してきました。今回はその報告をします。

### ・福島県は遠い

会議の開始が6月15日（土）のお昼からで、その日の熊本発では間に合いません。そこで前日からかけて郡山市で一泊しました。次の日の午前中は時間が空いたので、郡山市の立派な美術館に足を運びました。ところで公共施設の敷地内いたるところ、太陽発電パネルをつけたこのようなものを見かけました。はじめは発電施設かと思いましたが、これが放射線観測装置（モニタリングポスト）でした。時間あたりのマイクロシーベルトの値が示されています。

### ・そこからまた遠い

郡山駅前に迎えのバスがきました。それに乗って、常磐道を東に1時間ほど走ります。会場の星の村天文台がどこにあるかよく調べてこなかったのですが、なんと鍾乳洞で有名な「あぶくま洞」のすぐ横でした。かつて採掘されていた石灰岩の山肌が向きだしになった山の中腹に天文台がありました。

### ・会場はプラネタリウム室

今回の参加者は総勢70余名。大賑わいでした。会場は天文台内にあるプラネタリウム室。ここに参加者が詰め掛けると席は満杯になりました。いったんシートを倒して座ると館内の移動が不自由になります。文字通り「缶詰め状態」で会議が進められました。



モニタリングポスト



プラネタリウム室の会場の様子。

前の席の人はスライドを見てると首が痛くなる。



3.11 震災で主軸が折れ落下した 65cm 望遠鏡。展示？してあった。

## 第43回彗星会議プログラム(抜粋)

### 彗星レビュー

位置観測 「2012年の彗星発見・観測のまとめ」 中村彰正氏

光度観測 「2012年の主な彗星の光度変化」 吉田誠一氏

### 研究発表

- 1) 「力学モデルで探る彗星の尾 ～アイソン彗星のダストテイル～」 菅原賢氏
- 2) 「パンスターズ彗星のナトリウム・ナローバンドフィルタでの観測」 福島英雄氏
- 3) 「彗星名の発音調査および小惑星カレダニアの掩蔽について」 佐藤勲氏
- 4) 「リモート観測について」 佐藤英貴氏
- 5) 「彗星物理入門・分光と偏光」 鈴木文二氏
- 6) 「アイソン彗星の尾に negative polarization は観測されるだろうか」 石井達朗氏
- 7) 「1910年保阪嘉内ハレー彗星スケッチ調査」 加倉厚夫氏
- 8) 『星の王子さま』ハレー彗星説」 梶山義次氏

### 分科会

- A. とことん討論分科会 「このまま ICQ 休眠状態が続いたら、どうするか？」
- B. とことん学習分科会 「彗星物理入門・分光と偏光2」
- C. とことん工作分科会 「ドライアイスで彗星核をつくる」

### 講演

『はやぶさ』から『はやぶさ2』へ 小惑星への新たな挑戦 寺菌淳也

### ・話題はアイソン彗星

会議の内容は上のプログラムの通り、非常に盛りだくさんのものでした。

最大のトピックスは、今年に年末に明るくなるといわれるアイソン彗星(C/2012 S1)がありました。吉田誠一氏の最近の光度変化の状況報告では、光度上昇が鈍っているが、まだまだ巨大彗星になる余地があるとのこと。鈴木文二氏、石井達朗氏からは、十分明るい彗星になるので、偏光、分光など科学的な観測にチャレンジする呼びかけがされました。菅原賢氏は、過去のサングレザー(太陽をかすめる彗星群)のダストの尾の特徴から、近日点通過後のアイソン彗星のダストの尾の予測を計算されていました。

### ・夜の宴会も当然にぎわう

懇親会では、彗星のイラストコンテスト投票や、実行委員長・渡部潤一氏の奥さんのサプライズ誕生お祝いとにぎわいました。部屋に戻って、飲みなおし。鈴木・菅原氏が8月に恒星社から出版する彗星を科学する本のタイトルをみんなで考えていましたが、(今回、本の担当者も彗星会議に連れてきていた)結局、決まらずに撃沈。

### ・来年は、四国・松山

今回、欠席された小林壽郎さんの代理で、彗星会議運営委員会に出席しました。その場で来年開催を四国・松山市で行うことが決まりました。

会議が終わって、レンタカーを借りて被災地を見ていくという参加者もいました。私はミーハーにも、「八重の桜」の会津若松へおもむき、磐梯山や鶴ヶ城を見てきました。

東京から熊本に帰る飛行機では四国を通過するときちょうど松山市街が望めました。



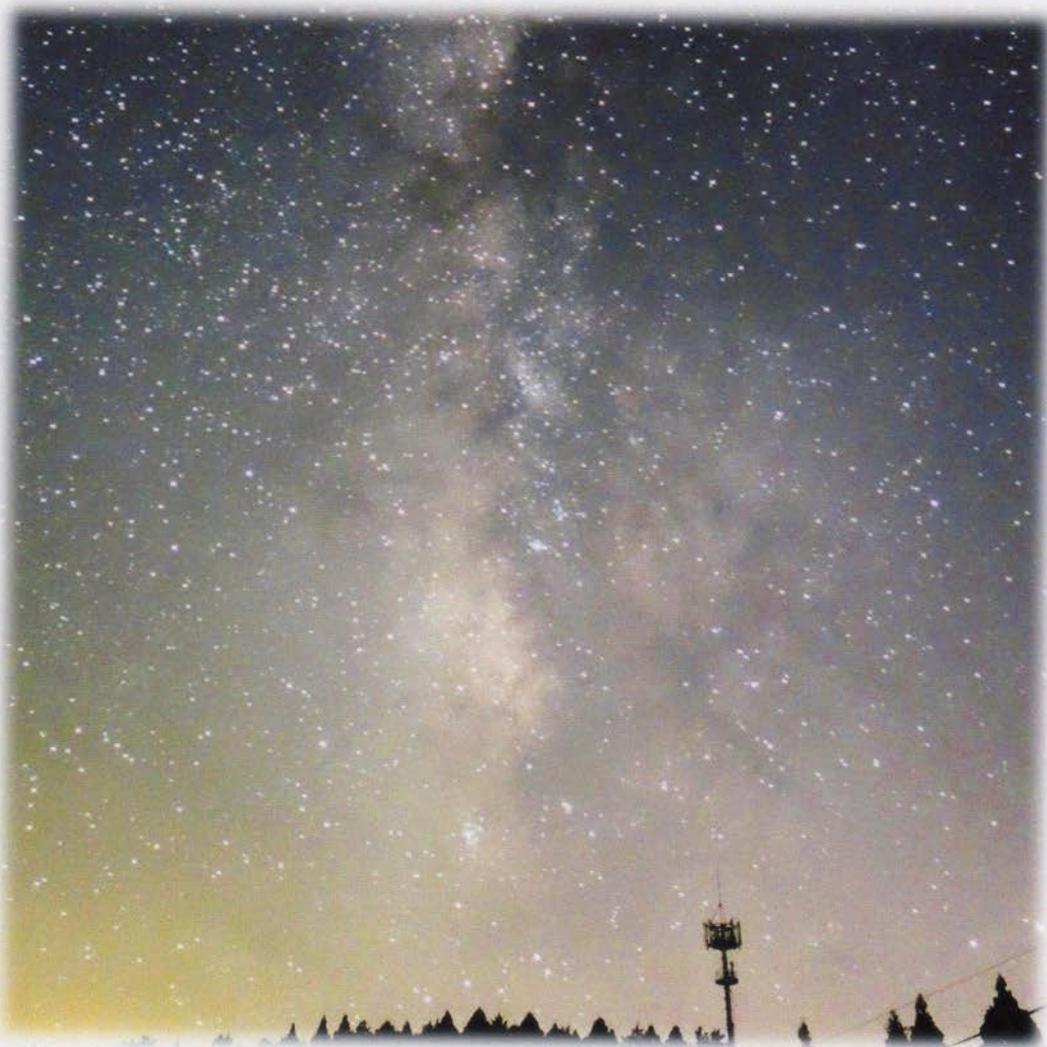
## ちよつと一服

### Poem & Illustration

今年はずつと梅雨入りでしたが、梅雨明けもずつと。おかげで、例年だと梅雨の真っ最中の7月7日に、きれいな星空を見ることができました。しかも雨上がりということで空の透明度がいいことと言ったら…6月まともに晴れず、ただひたすら曇ってばかりだったことを取り戻すかのように、その後連日の晴天の星空が続いています。

まあ、晴天が続きすぎると空の透明度はだんだん落ちてくるんですけどね。それでも、7日から6日連続で天の川が見られるなんて、もう嬉しいったらありません。

ところで、天文台での解説で、ティーポットに見立てる星の並びを説明してるんですが…これ、一度ティーポットと認識すると、もう射手というより、ティーポットにしか見えませんよね。



## ティータイム

お茶の時間ですよ

からからに乾ききった 6月を耐えて  
7月の田んぼは たっぷりと水を蓄えた

もう いい頃よね  
と 乙女が宣言したのか  
最後にまとめて水撒きした後は  
さっさと 梅雨明け  
織姫も 彦星も  
雲の上での密会ができずに困ってるなんて  
おくびにも出さないが

じゃあ そろそろ お茶を入れましょうか

南のティーポットが湯気を立てている  
ちょうどいい沸き加減だと  
サソリのしっぽが教えてくれる

田んぼに整列した稲の苗は  
幼いながらもしゃんと背筋を伸ばしている  
遠くで雷光が見えるが  
夏はまだ 始まったばかりだ



By Dio

# 2013年6月の県民天文台

## ～運営日誌より～

開台率 3日/13日=23.1% 総開台日数 3日

一般来台者数 6名 会員来台数 9名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
15日 (土)	曇りのち晴れ	中島 艶島  艶島 西嶋 中島 高群 小林 M 鹿釜	1人	月 公園を草刈りして下っていた人が、天文台の敷地も刈ってくれていました。ので、お礼に月を見ていただきました。  Talk About 星屑発送作業 これからの天文台についていろいろとみんなで提案を検討 鹿釜さんが10月13日にご結婚！熊本からもたくさん参加してほしいとのことです。
16日 (日)	晴れ/曇り	艶島 小林ま	5人	月、土星  ケイタイで手持ち撮影を楽しまれました。
30日 (日)	曇り	艶島	0人	夕方、ほんの少し「青空」が見えたので開台。でも、換気しただけでおしまいでした。

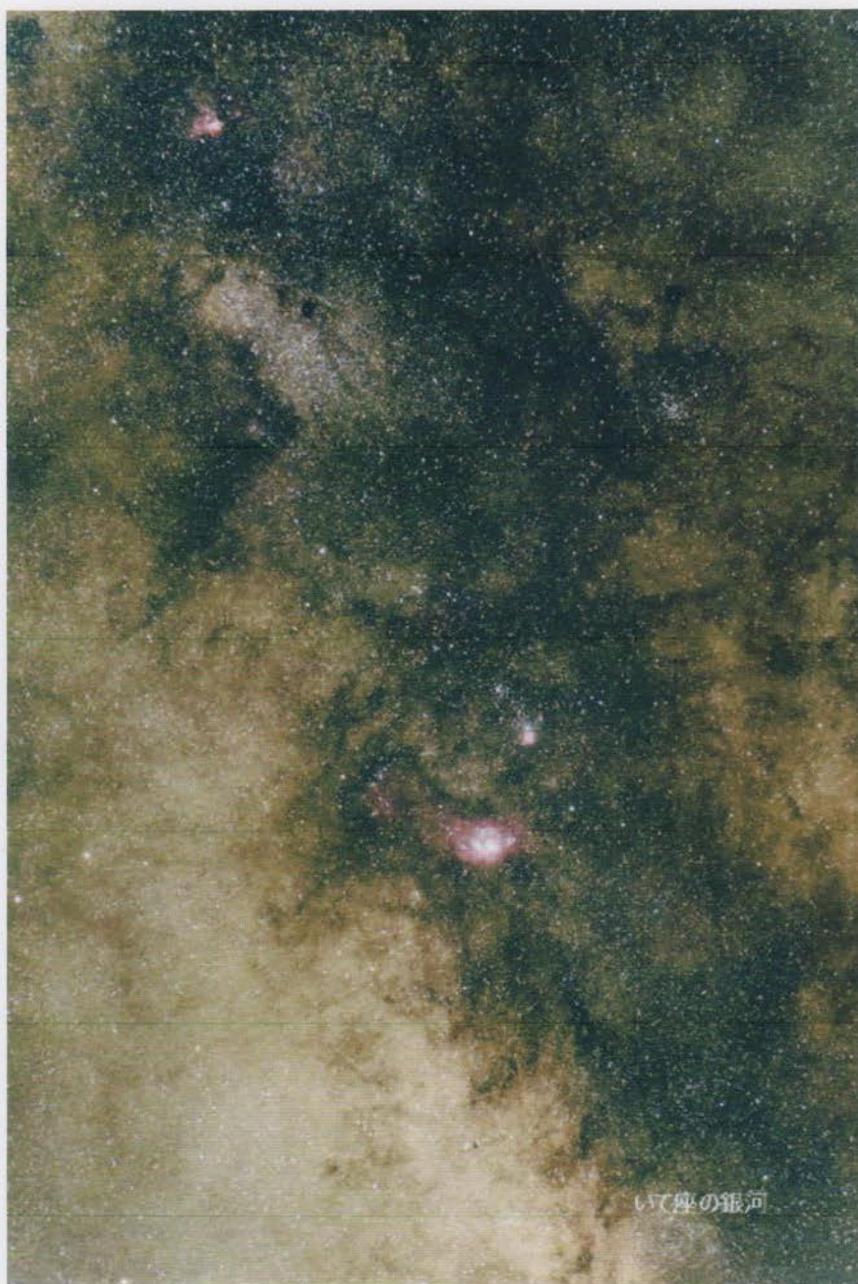
今月は、記録的に開台日数が少ない月になりました。雨ばかりで、すっきりと晴れることがない一ヶ月間でした。そのため、わずかに3日間だけしか開台できないという結果に終わっています。

しかし、7月に入ると様子は一変して毎日猛烈な暑さです。7日(日)の七夕の時は快晴の空の下、100名以上のお客さんで賑わいました。それから一週間。毎日の晴天でいきなりの真夏に突入です。8日にはクマゼミが鳴き始め、いよいよ夏本番となりました。ニイニイゼミをすっ飛ばしてのクマ

ゼミの登場にちょっとびっくりしてしまいました。

さてこの間、西の空には金星がきらきらと輝きを増し、月との共演も楽しめました。夏の星座はもちろんのこと土星も見頃となっています。6月の不振を吹き飛ばす夏休みの運営となりますかどうか、ちょっと楽しみですが体力が心配ではあります。

ひげ



いて座の銀河

梅雨明けが7月8日に発表されました。梅雨明け早って思ったら、平年より11日早く昨年より15日早いんだそうです。その後晴天が続きますねえ。続き過ぎで熱中症になりかけています。皆さんも御身体お気を付け下さいませ。そんな訳で先日の七夕も夕方から晴れたので、天文台も大賑わい。通常梅雨末期は晴れませんから。その七夕ですが、今年の伝統的七夕は8月13日です。真上に上がったおり姫星とひこ星、その間を天の川が北から南へ空を横断している様子を是非見てみて下さい。

## ☆8月の天文現象&行事☆

- 4日(日) 夜明けの東天で細い月と木星、火星、水星が集合する
- 7日(水) 新月(06:51)  
立秋(りっしゅう)…暑気はまだ強いが涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋
- 10日(土) トークアバウト(20:00～天文台にて 変更の場合もあります)  
フィールドミュージアム「夏の星空とペルセウス座流星群」
- 12日(月) スピカの食(福岡:暗縁から潜入18:28→明縁から出現19:22)  
13日の明け方にかけてペルセウス座流星群が極大
- 13日(火) 伝統的七夕  
夜明け前にペルセウス座流星群が極大
- 14日(水) 上弦(19:56)
- 18日(日) はくちょう座κ流星群が極大のころ
- 21日(水) 満月(10:45)
- 23日(金) 処暑(しよしよ…旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く)
- 24日(土) 水星が外合(14:06 -2.1等 視直径05.0")  
うお座ε星の食(福岡:明縁から潜入22:19→暗縁から出現23:10)
- 27日(火) 海王星がみずがめ座で衝(7.8等 視直径02.3")
- 28日(水) 下弦(18:35)
- 30日(金) 夏の星空観測(城南公民館講座 19:30～)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2013年8月号 通巻461号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス [astro@kcao.jp](mailto:astro@kcao.jp)

メンバーリストの加入申し込み受付中 [kcaohige2003@yahoo.co.jp](mailto:kcaohige2003@yahoo.co.jp) 中島まで